

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

経営者のリーダーシップは「絶対に成功させる」という覚悟

古森 重隆（富士フィルムホールディングス代表取締役会長・CEO）

1. 経営者に求められる資質には、「読む」「構想する」「伝える」「実行する」「成功させる」の5つです。経営者は評論家ではありません。実行する以上、成功させなければ経営者は失格です。絶対に成功させるという強い思いがなければなりません。
2. 経営者のリーダーシップとは、つまるところ「絶対に成功させる」という覚悟できるか否かということになります。それは決断する力といってもいいでしょう。決断したら成功までやり抜く、そのためには勇気と気迫が必要です。しかし、勇気や気迫というものは、経営者になったから身につくというものではありません。私自身について言えば、満州で迎えた終戦時の惨めさが原体験にあるのだと思います。
3. 会長室には「力」と書かれた額を掲げています。世の中はすべて戦いです。人であれ、会社であれ、結局、世の中を動かすのは力なのです。だから、経営者は、すべての戦いに勝てる真の実力を養わなければなりません。
4. 経営者には全人間的な能力が必要です。頭だけではなく全部が大事です。当社でも、書類をうまくまとめることのできる左脳型の社員はたくさんいますが、彼らは、クリエイティブティ、行動力がない。右脳が弱い。右脳には、勇気、気迫、ロマン、冒険心などがある。これを鍛えないといけません。勘のよさは経営者にとって大事な資質だと思います。

（参考：「CEOアジェンダ 2016」）ダイヤモンド社

経営者のための理念・哲学

視座を高める

1. 視座が低いと人は状況や環境に振り回される。視座を高めることで人は打ち手が見え状況や環境を変えていくことができる。言い換えれば、視座を高められない限り、人は運命を高めることはできない、とも言える。視座を高めることは人生の大事である。
2. 新渡戸稲造は 35 歳の時に大病した。治るには 8、9 年かかるというのが医師の見立てだった。彼が絶望に打ちひしがれたのは当然だろう。だが、病氣も修養の糧にすればよい、病から得るものはある、と見方を変えたら、いま自分は人生の半ばにきてひと休みしているのだ、という気持ちになった。そう思って療養していると 1 年ほどで治り、37 歳で「武士道」を著すまでに元気を回復した、という。病氣に対する視座を高めることで新渡戸の運命は大きく変わった。

（参考：「致知」：2016 年 5 月号）

人事・労務について

逃げ切り世代等の特徴

1. 団塊世代（64～68 歳・980 万人）…逃げ切り世代で、ベビーブームのため他の世代より競争意識が高い。
2. ポスト団塊世代（55～63 歳・1460 万人）…団塊世代の反動でクールになり、シラケ世代。
3. 新人類世代（50～54 歳・780 万人）…右派や左派、革新といった思想から解放された世代。
4. バブル世代（45 歳～49 歳・860 万人）…貯蓄よりも消費を優先する唯一の世代。苦労なく正社員になれた時代。
5. 団塊ジュニア世代（33～44 歳・2150 万人）…就職氷河期に見舞われた世代。
6. さとり世代（21 歳～32 歳・1600 万人）…幼少時から景気が悪いため、不安定な時代を生きる心の耐性は強い。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2016 年 2 月 20 日号）

古典に学ぶ

知的専門家は機械とみなされた

（解説）別の人（三浦梅園「1727-1789」）は、学問を臭いにおいのする葉にたとえて、「学問は臭き葉のようなり、能く能く臭みを去らざれば用いがたし。少し書を読めば少し学者臭し、余計書を読めば余計学者臭し、こまりものなり」とのべた。そう書いた人の言わんとするところは、知識が本当に知識となるのは、それが学ぶ人の心の中に同化され、その人の性格に現われたときだけだ、とのことである。知的専門家は機械とみられた。

（参考：佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」：教文館）